

小中学校のGIGAスクール

課題を整理し方向性を示す



都築 清子 議員
(公明党)

令和3年度から小中学校
校ひとり1台のタブレット
端末が整備され、教育
現場で時代の変革期を迎
えている。

問 環境整備の進捗状況。
答 教 校内通信ネットワ
ーク環境と児童・生徒ひ
とひとり1台のタブレット端
末の整備は完了した。

問 学校生活の中で特に
大きく変わる場面。

答 教 インターネットを
利用し、調べ学習のスタ
イルが大きく変わる。
目的に応じた様々な情報
収集、整理や分析ができ、
多くの授業で活用できる。

問 ICTを活用した学
習で子どもの特性に適し
た学びの見解。

答 教 一人ひとりの学習
履歴がデータで記録でき、
学習状況に応じた個別学
習が可能。
データを継続的に収集、
蓄積、分析することで、
子どもたちが自ら学習の
振り返りに活用でき、個
別に最適化された学びを
行うことができるため、
研究を進めていく。

問 不登校児童・生徒に
対しオンライン学習で一
定の基準をもうけ出席扱
いできないか。

答 教 解決しなければな
らない課題が多くある。
出席扱いについては課題
を、一つずつ、解決した
うえで考えていく。



命を守る交通安全施策 ヘルメット購入費補助制度準備

県の令和3年度新規事
業に「自転車の安全で適
正な利用を促進するため、
条例を制定し取り組みを
強化」とある。この事業
についての考えと、これ
までの交通安全施策。

問 自転車乗車用ヘルメ
ット着用推進補助金事業
についての見解。

答 総 県は7歳〜18歳ま
での児童・生徒等及び65
歳以上の高齢者を対象に、
自転車乗車用ヘルメット
の購入補助制度の導入に
向けた準備をしている。

示された補助要件を精
査し、県と協調しながら
補助制度に係る補正予算
を計上し進める。

問 県道、町道の安全対
策の調査結果後、安全施
設設置場所と具体的内容。

答 建 国の調査条件が示
され、これまでの定例会
で報告した12力所すべて
が非該当。

新たに抽出した21力所
の安全対策は令和元年度
と令和2年度で実施完了。
非該当になった所のうち、
県道は県へ要望し町
道は通学路や歩道利用状
況、交差点形状などを総
合的に判断し安全対策が
必要な所は対応していく。

問 中学1年生の自転車
通学指導の時期と内容、
その効果。

答 教 毎年2月に行つ小
学6年生対象の交通安全
教室と入学直後の通学団
会で指導を行う。
登下校の交通事故の報

告は、過去2年でそれぞ
れ5件。交通安全教室や
指導に効果が出ていると
考える。

問 県は今年10月1日か
ら自転車損害賠償責任保
険加入が義務化。これに
ともなう加入促進の施策。

答 総 自転車損害賠償責
任保険等については、町
広報やホームページ、交
通安全教室等を通じて加
入促進の啓発に努める。
県が実施する施策と歩
調を合わせながら制度の
周知をする。



中学生の7割が自転車通学